

報 告 書

開 催 日 時	令和5年2月8日（水）10時00分～11時20分	
開 催 場 所	第1常任委員会室	
出 席 委 員	岩本雅之委員長、森本秀歳副委員長、たちばなふみ委員、村松りえ委員、野々内誠委員、野津直嗣委員、田中明子委員、立脇通也委員	
	司 会 者	森本秀歳副委員長
	報 告 者	岩本雅之委員長
参 加 人 数	まっえ環境市民会議 9名	
主 な 意 見 等	○参加者 西栗倉村へ先進地視察に出かけたが、間伐材を活用したバイオマス発電等に取り組み、雇用も生まれていた。単独で物事を進めてもなかなかうまくいかないの、複合的な環境問題の取組を考えていく必要がある。 ○参加者 公民館で小学生向け環境出前講座を行ったが、温暖化等について小さい時から考える機会を与えていくことが我々の仕事だと思う。 ○出席委員 公民館が学校と連携し、いろいろな地域で学びやができたなら、啓発活動も進んでいくと思う。 ○参加者 食品ロス削減のためには、ロスの出にくい食材選択や食べ残しを生まない料理等が必要である。島根県からの委託で、主婦の知恵を集めた「食べきりレシピ」を作っている。 ○出席委員 新しい世代につないでいくことが、最も大事なところだと思う。それぞれの環境テーマに応じた具体的なターゲットを整理してみてもどうか。 ○参加者 言われるとおりターゲットを絞っていくことは大事だと考えている。現在、子どもをターゲットにして、再生可能エネルギーの仕組みを見てもらい、家に帰って家庭に広げてもらえるような企画を練っている。 ○出席委員 地域で缶拾いをしたが、拾うという行為が捨てないという意識に変わっていき、地域に浸透していった。日々の地道な活動により、市民の環境問題に対する意識も高まるのではないかな。 ○参加者 小学校や幼稚園で環境劇をすると、子どもが真剣に考えていろいろな意見を出してくれる。 ○参加者 小学校4年生の省エネチャレンジシートについて、今年度はかなり成果が上がってきていると思う。また、今年度から小学校で新たにゼロカーボンチャレンジも行っている。振り返りの学習会は非常に大事なので、学校現場での環境教育に何とかテコ入れしたいという思いはある。	

○出席委員 小学校4年生から学校で環境問題の授業をされるので、子どもたちの環境問題への関心が高まってくる時期に学校へ提案していただいて、相乗効果で良かったと思う。

○出席委員 教育委員会や学校もマンパワーが足りないと思うので、公民館の子ども会等を活用し、その活動を支援していくのはありだと思う。

○参加者 エネルギーの講習会には、聞いてほしい年代の30代、40代の方は来られない。エネルギー問題は、1回停電してみて電気のありがたさが分からないと変わらないのではないかな。

○参加者 白鳥号で朝のエコクルーズをしているが、新しいガイドが入らないので、何とかしていかなないといけない。環境問題は人材がいないと成り立たないと思うので、人材育成の場がぜひほしい。

○出席委員 他県でも知られているすばらしい事業なので、しっかり続くように議会でも意識したい。

○参加者 ごみの問題はいつも追いかけてこで、リサイクルステーションの掃除をしているが、一人が脇にごみを捨てると何人ものごみ捨てになってしまう。

○出席委員 収集事業者は現場がよく分かっているので、連携して対策すれば何とかなると思う。

○参加者 古浦海岸で学校や市民に募ってごみ拾いをしているが、非常にゴミが多くて困っているので、参考に寄って見てもらいたい。

○出席委員 漂着ごみは膨大な量が流れてきており、医療廃棄物も含まれているので、非常に危険である。

○出席委員 たくさんの活動をされているが、市民に知られていないと感じた。これからどのように活動を広報していく考えか。

○参加者 ホームページ等で発表の場をアップしていこうと思っている。大学生と意見交換をすると、市は情報発信が下手だと言われるので、SNS等も来年度に向けて実践していこうと思っている。

○出席委員 まつえ環境市民会議の会員はどのくらいいるのか。

○参加者 昨年3月末で個人会員205人、団体会員49団体、法人会員705事業所。16年目を迎え、ある程度、人が固まってしまって広がりが薄れてきているので、新陳代謝で若い人に入ってもらえるような方策を考えないといけないと思っている。

○出席委員 省エネに関して何か取組があれば紹介してください。

○参加者 中国電力と松江市が連携協定を結んでいるので、旅館等で積極的に省エネ診断等をしていこうと思っている。補助金等の情報発信をしてほしいという意見もあるので、どんどん発信していきたい。

	○参加者 特に若い団体の方と話をすると、どちらかという自立型で、自分たちは自分たちでしっかりと予算やマンパワーを継続していける状況にしたいし、インセンティブも残るようなものにしていきたいという非常に意欲的な人が多い。 ○参加者 松江市の方向性が見て分かるものが少ないと思うので、シンボライズされたものがほしい。 ○出席委員 環境活動は裾野をどんどん広げていくことが必要だと思うので、いろいろな方面にアプローチをかけて、活動の裾野が広がればいいと思う。
--	--

松江市議会議長 様

令和 5 年 2 月 20 日

議会基本条例第 7 条の規定により議会報告会(意見交換会)を実施しましたので報告します。

令和 4 年度 議会報告会(意見交換会)

建設環境委員会委員長 岩 本 雅 之